

ウスバシロチョウの熱死

足立義弘

1982年5月18日、ウスバシロチョウにマークを付けるために採集をおこなっていた。正午過ぎ食事のため、ウスバシロチョウ10数頭とモンキチョウ一頭をネットに入れたまま直射日光にさらしておいた。その間10分から15分くらいであったと思う。食事を終えてマークを付けようとする時、虫の息のウスバシロチョウ2〜3頭をのぞきすべて死んでいた。

天候は晴れ、風はなくじっとしていると暑いくらいであった。ネットは空気の循環の悪い草間の地面においていた。

たぶん動きがとれないネットの中で、直射日光と地面の照り返しを受け、体温が上がり過ぎてために死んでしまったものと思われる。

体温がどのくらいまで上がったのかは想像もつかないが、あれだけ日射しの強いなかで活発に飛び回っているチョウがこうも簡単に死んでしまうとは思ってもよらなかった。

チョウには悪いことをしたが、色々な行動をとおしてチョウが体温のバランスをいかにうまく保っているかを痛感した。

オニクワガタを三川山にて採集

加野 正

オニクワガタ *Prismognathus angularis* WATERHOUSE は、兵庫県下では氷の山、扇の山のスケ所から記録されているが、筆者は下記のように三川山にて本種を採集しているので報告しておく。

查住町三川山山頂付近 1982-IX-11 1 ex.

本種は三川山山頂付近のブナ林のブナ倒木樹皮下より採集したものである。

参考文献

高橋寿郎 (1982) : 兵庫県のクワガタムシ (兵庫県甲虫相資料・105), てんとうむし No. 8; 141~152

